

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年12月15日

計画の名称	天理市における市街地の改築更新、管路施設・ポンプ施設における事業継続性の確保（防災・安全）（第四次）													
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	天理市													
計画の目標	内水による浸水リスク情報を整理し、適正な避難行動を決定する上で必要となる内水浸水想定区域図の策定を行う。 管路施設の点検調査、改築更新により良好な水環境と快適な暮らしに寄与する事業の継続性を確保する。 上下水道耐震化計画に位置付けた避難所等に接続されている管路施設の耐震性を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		567	A	567	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8当初	R10末	R12末
1	内水浸水想定区域図の策定率を0%から100%に向上させる。 内水浸水想定区域図の策定率 内水浸水想定区域図の策定面積／全体排水区域面積（A=3,922ha）			
		0%	100%	100%
2	ストックマネジメント計画において対策が必要と位置付けた管路施設（L=1,146m）の改築更新実施率を0%から100%に向上させる。 管路施設の改築更新実施率 改築更新を実施した管路延長／改築更新を実施すべき延長（L=1,146m）			
		0%	50%	100%
3	ストックマネジメント計画において対策が必要と位置付けたマンホール蓋（N=43箇所）の改築実施率を0%から100%に向上させる。 マンホール蓋の改築実施率 改築を実施した箇所数／改築を実施すべき箇所数（N=43箇所）			
		0%	50%	100%
4	上下水道耐震化計画に位置付けた避難所等に接続されている管路（L=28.8km）に対し耐震診断を実施する。 耐震診断の実施率 耐震診断実施延長／避難所等に接続されている管路延長（L=28.8km）			
		30%	65%	100%
5	上下水道耐震化計画に位置付けた避難所等に接続されている管路のうち、早期に対策を講じるとした施設（L=9.0km）の耐震性能を確保する。 耐震性能の確保率 耐震性能を確保できた施設延長／早期に対策を講じるとした施設延長（L=9.0km）			
		16%	58%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	天理市	直接	天理市	管渠（ 雨水）	-	内水浸水リスク情報整備	内水浸水想定区域図の作成及 び作成に必要なシミュレーシ ョン等の実施	天理市	■	■				55		-	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																		
	A07-002	下水道	一般	天理市	直接	天理市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画に基づく調査、 改築修繕の実施及び計画 更新等	改築更新（管渠延長L=1,146m マンホール蓋取替N=43箇所 ）等	天理市	■	■	■	■	■	292		策定済	
		下水道ストックマネジメント支援制度																		
	A07-003	下水道	一般	天理市	直接	天理市	管渠（ 汚水）	改築	上下水道耐震化計画に基 づく地震対策の実施	耐震診断、耐震補強に向けた 実施設計及び工事の実施	天理市	■	■	■	■	■	220		策定済	
		下水道総合地震対策事業																		
										小計							567			
											合計						567			

事前評価チェックシート

計画の名称： 天理市における市街地の改築更新、管路施設・ポンプ施設における事業継続性の確保（防災・安全）（第四次）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本計画・上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○

[illegible]